

平成26年度

伊予市社会福祉協議会事業報告書



社会福祉法人 伊予市社会福祉協議会

平成 26 年度事業報告

事業名 法人運営事業

【事業内容】

理事会・評議員会による社協運営の決定

会員会費のお願い及びその活用 お預かりした会費 6,161,600 円

各種調査

広報啓発

【実績】

1. 会議等開催

①理事会開催 3 回

②評議員会開催 3 回

2. 広報啓発

①広報誌「いよし社協だより」の発行（6 回）

1 回目：平成 26 年 5 月 1 日

（平成 26 年度事業計画・予算、社会福祉協議会会員加入のお願いなど）

2 回目：平成 26 年 7 月 1 日

（平成 25 年度事業報告・収支決算、郡中地区「敬老の家」など）

3 回目：平成 26 年 9 月 1 日

（伊予市障害者総合支援センターの紹介、共同募金のお知らせなど）

4 回目：平成 26 年 11 月 1 日

（あい・愛フェスタのお知らせ、「ささえあい活動支援」募集など）

5 回目：平成 27 年 1 月 1 日

（あい・愛フェスタ開催報告、伊予市障害者総合支援センターからの
お知らせなど）

6 回目：平成 27 年 3 月 1 日

（目玉焼き倶楽部受講生募集のお知らせ、共同募金実績報告など）

②社協イメージキャラクターあいみん。の日

1 回目：平成 26 年 4 月 14 日（放課後児童クラブ）

2 回目：平成 26 年 6 月 13 日（むつみ祭り）

3 回目：平成 26 年 7 月 13 日（第 5 回広域松山圏ボランティア交流会）

4 回目：平成 26 年 8 月 15 日（ぽかりん☆サロン）

5 回目：平成 26 年 10 月 10 日（街頭募金）

6 回目：平成 26 年 11 月 16 日（伊予市社協福祉まつりあい・愛フェスタ）

- 7回目：平成26年 12月15日（手話サロン）
8回目：平成27年 1月12日（伊予市成人式）
9回目：平成27年 2月17日（中山地区社協「敬老の家」）

③社協イメージキャラクターあいみん。のイベント参加

- 1回目：平成26年 5月11日（ぽっかぽか祭り）
2回目：平成26年 6月7日（ふたみほたる祭り）
3回目：平成26年 8月24日（みんくる・ぽかりん夏祭り&バザー）

【課題等】

1. 理事、評議員の意見を反映して開かれた社協運営を図る。
2. 広報誌は、市内の情報や社協の事業などを周知し、市内や伊予市社協の情報を市民に周知する。
3. 各種イベントに参加し、あいみん。を通して伊予市や伊予市社協の周知をする。また、あいみん。の日には地域住民との交流を深め、伊予市社協をアピールする。

平成 26 年度事業報告

事業名 伊予市社協 福祉まつり 「あい・愛フェスタ」

【事業内容】

これまで多年にわたり社会福祉の発展に貢献いただいた皆様を顕彰し、その功績をたたえとともに、市内の福祉・教育・保健・医療・ボランティア等関係者が一丸となって福祉の向上に資することを目的とする。

主催：伊予市社会福祉協議会、伊予市ボランティアセンター、伊予市共同募金委員会

後援：伊予市、伊予市教育委員会、伊予市民生児童委員協議会、伊予市児童センターみんくる

【実績】

開催日時：平成26年11月16日（日）10：00～15：00

開催場所：伊予市総合保健福祉センター2・3階他

内 容

○式典及び表彰

・表彰

伊予市長感謝状（高齢者家庭相談員功労者）	1名
伊予市社会福祉協議会会長表彰（高齢者家庭相談員功労者）	3名
〃（優良ボランティア）	13名
〃（非常勤の介護職員等）	20名
伊予市社会福祉協議会会長感謝状（まごころ銀行功労者）	3名
伊予市共同募金委員会会長表彰（共同募金運動奉仕功労者）	7名
伊予市共同募金委員会会長感謝状（〃）	2団体

・記念講演

演題 『～歌と書道パフォーマンス～

被災地ボランティアを経て笑顔を届ける』

講師 友近890氏

○ボランティアグループ活動発表・体験

活動発表9団体、体験8団体

○その他

社協PRブース、各種団体バザー（7団体）



【課題等】

集客方法及び駐車場の検討

平成 26 年度事業報告

事業名 福祉サービス利用援助事業

【事業内容】

認知症や知的障害・精神障害などにより判断に迷い、適切なサービスを受けることができない場合もあるため、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービスを行うことにより、できる限り地域で安心して自立した生活を送ることができるよう支援することを目的とする。

業務範囲

- ①調査、支援計画の策定、契約、解約
- ②福祉サービスの利用援助
- ③日常的な金銭管理
- ④書類等の預かり

専門員：4名（社会福祉協議会職員）

生活支援員：5名（市内6地区に各1名、上野地区調整中）

【実績】

別紙1のとおり

【課題等】

関係機関等への事業周知

利用者に対する関係支援機関等との連携体制（主たる窓口）の見直し

生活支援員への移行

別紙1

福祉サービス利用援助事業

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
利用者数	認知	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	35	3	
	精神	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3	
	知的	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	86	7	
	合計	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	15	15	157	13	

単位:回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
定期支援	認知	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	24	2	
	精神	8	7	6	5	4	4	4	2	2	2	3	2	49	4	
	知的	17	11	11	15	12	10	10	10	10	12	9	5	132	11	
	合計	26	19	18	22	18	16	16	14	14	17	15	10	205	17	

※1回あたり0.5h~1h

単位:回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
相談援助	認知	10	10	8	10	11	9	11	8	11	16	10	12	126	11	
	精神	13	12	11	17	16	23	16	14	21	18	12	10	183	15	
	知的	22	27	28	33	27	25	22	17	22	21	17	21	282	24	
	合計	45	49	47	60	54	57	49	39	54	55	39	43	591	49	

※サービス解約後の相談等を含む

※1回あたり0.5h~1h

単位:件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
問い合わせ・新規相談	認知		1					1			1			3	0	
	精神													0	0	
	知的										1	1		2	0	
	その他											1		1	0	
	合計	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	6	1	

平成 26 年度事業報告

事業名 法人後見事業

【事業内容】

認知症や知的障害・精神障害などにより、不動産や預貯金などの管理、福祉サービスに関する契約、遺産分割などにおいて、判断が不十分であるために不利益をこうむることがないように、法人が成年後見人となり保護・支援することを目的とする。

【実績】

受任件数 7 件

補 助：1 件（50 代 女性 精神障害）

同意行為

- ・月賦販売契約の締結及び金 5 万円以上の物品の購入代理行為
- ・本人に帰属する預貯金に関する金融機関等との取引（預貯金の管理、振込依頼、払戻し、口座の変更、解約等）
- ・介護契約、その他の福祉サービス利用契約及び福祉関係施設への入所に関する契約の締結・変更・解除
- ・医療に関する諸手続
- ・精神障害者手帳の更新手続、その他行政機関に関する諸手続
- ・遺産分割（登記手続を含む）
- ・本人所有の不動産に関わる一切の処分（登記手続を含む）

後 見：6 件（40 代 女性 精神障害、80 代 男性 認知症高齢者、
50 代 女性 知的障害、40 代 男性 知的障害、
60 代 男性 知的障害、80 代 男性 認知症高齢者）

その他：支援等実績、別紙 2 のとおり

【課題等】

関係機関等への事業周知及び連携

別紙2

法人後見事業

受任数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
	補助	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1	
	保佐														0	
	後見	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	64	5	
	合計	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	76	6	

単位:日

財産管理 相談援助		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
	補助	14	10	15	13	8	8	10	8	14	15	8	17	140	12	
	保佐														0	
	後見	45	41	50	53	53	50	45	50	59	59	52	75	632	53	
	合計	59	51	65	66	61	58	55	58	73	74	60	92	772	64	

単位:件

制度に関する 問合せ等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	備考
			1			2	1	1					5	0	

平成 26 年度事業報告

事業名 ボランティア活動推進事業

【事業内容】

ボランティアを育成し、受講後の活動に活かせるよう、市民を対象にボランティア講座を行った。

また知的障がい児・者とボランティアの交流事業を行い、互いに助け合い、楽しみ交流を深めた。

災害に備えるために、災害ボランティア研修会や家具転倒防止事業を行った。

ボランティアセンターの利用貸し出し及び施設管理を行った。

ぽかりん通信を毎月発行し、ボランティア情報の発信を行った。

【実績】

① 傾聴ボランティア講座（中級編）

- ・ 5月28日・6月5日・6月11日（伊予市総合保健福祉センター2階活動室）
- ・ 延参加者数37名
- ・ 講師：メンタルサポートK's HOUSE 熊本園子氏

② 大人女子のHappy塾

- ・ 7月29日・8月12日・8月19日・8月24日（伊予市総合保健福祉センター2階）
- ・ 延参加者数53名
- ・ 講師：①ヨガdeリフレッシュ ヨガインストラクター 杉山 弥保氏
② 伝統料理を学ぼう 佐礼もん茶屋 松浦 千枝子氏
③ アロマdeリラクゼーション JAAアロマコーディネーター熊本 園子氏
④ みんなくる・ぽかりん夏祭り&バザー ボランティア体験

③ ハッピー*シニアライフ講座

- ・ 3月4日・3月12日・3月16日・3月17日～19日（伊予市総合保健福祉センター2階他）
- ・ 延参加者数43名
- ・ 講師：①エンディングノート作り～自分史を作ろう～認知症介護指導者 森川隆氏
② 笑いヨガで楽しくリフレッシュ！えひめ笑いヨガクラブ

笑いヨガティーチャー 丹下隆清 氏

③ おいしくて簡単な食事作り シニア野菜ソムリエ 近藤路子氏

④ 知っておきたい年金のはなし 松山西年金事務所職員

⑤ 家族の介護が必要になったら・・・ 伊予市在宅介護支援センター
田中 大祐 氏

⑥ 5歳若返りメイク術 アルソア愛媛販社 大院 道世 氏

④ 手話サロンの開設

- ・ 9月22日・10月20日・11月17日・12月15日・1月19日・
2月16日・3月16日（伊予市総合保健福祉センター2階集いの場）
- ・ 延参加者数46名
- ・ 講師 伊予市社会福祉協議会 手話通訳者 坪内 京子 氏
- ・ 手話初心者向けのサロン。

⑤ 災害ボランティア研修会

- ・ 10月4日（伊予市総合保健福祉センター2階）
- ・ 参加者数約200名
- ・ 講師：コミュニティ・エンパワメント・オフィス Feel DO 桑原英文氏
*講演会「深めよう地域の絆 高めあおう地域の防災・福祉力」、演習「ご近所助け合いゲーム」を通して地域での支えあいについて学んだ。
*伊予市赤十字奉仕団がカレーの炊き出しを調理し、1食200円で販売し、売上金を広島市土砂災害で支援活動をしている支援者への支援金として送付した。

⑥ ゆうきっず2014inふたみ

- ・ 8月1日・8月2日（伊予市双海町双海潮風ふれあいの館）
- ・ 参加者数28名
*知的障害児・者とボランティアの交流事業。一泊二日を共に過ごし、自分たちで食事を作り、レクリエーション等を通じて相手を思いやる心や助け合い、共に楽しむことにより交流を図った。

⑦ 家具転倒防止事業（取付作業）

- ・ 7月24日・29日（希望者宅）
- ・ 件数：1件
- ・ ボランティア：2名（かぐてんぼう支援隊）
*高齢者家庭相談員の協力のもと、一人暮らし高齢者等を対象に寝室の家

具の転倒防止金具等の取付希望調査を実施。今年度は伊予地区1名の希望者があり、「かぐてんぼう支援隊」2名が取付作業を実施した。

⑧ みんなくる・ぽかりん夏祭り&バザー

- ・ 8月24日（伊予市総合保健福祉センター3階）
- ・ ボランティア参加者数13名（大人女子のHappy塾の受講生）
- ・ カレーライス・すいとん・パンケーキ・フランクフルト・フライドポテト
アイスフロート・ぽかりんクッキー・コーヒーを販売した。

⑨ プルタブ選別作業

- ・ 7月13日・8月11日・8月12日・8月13日・9月19日（伊予市総合保健福祉センター2階）
- ・ 参加者数21名
- *住民から善意で集められたプルタブをアルミとスチール、ゴミに分別。車椅子一台800kgに到達し寄贈された。

⑩ 第5回広域松山圏ボランティア交流会（伊予市ボランティア連絡協議会）

- ・ 7月13日（久万高原町産業文化会館）
- ・ 参加者数21名
- *活動紹介や分科会、余剰品販売等を行った。

⑪ ボランティアセンター施設利用実績

- ・ 別紙3のとおり

⑫ エコキャップの回収 264,880 個(ワクチン代他)

⑫ プルタブ回収 414kg(800kg で車椅子一台)

⑬ 防災倉庫の設置

【課題等】

- ・ 講座の開催曜日や時間帯を考慮し、参加しやすい講座となるよう工夫した。
- ・ 受講者が既存ボランティアグループへの加入につながった。
- ・ 住民のニーズを拾い希望する講座を開催することにより、受講後の活動に活かせるように働きかける。
- ・ 防災への活動を続けて行く。

平成26年度伊予市ボランティアセンター施設利用状況

(1)活動室・録音室・研修室

場所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1活動室	男	3	8	2	3	1	2	2	5	3		21	2	52
	女	81	76	65	54	42	55	63	87	75	48	96	87	829
	計	84	84	67	57	43	57	65	92	78	48	117	89	881
第2活動室	男	9			5		4		2	2	4	3		29
	女	33	51	41	91	23	67	51	29	65	49	29	16	545
	計	42	51	41	96	23	71	51	31	67	53	32	16	574
第3活動室	男	2	18	10	11	6	2	5	11	2	8	5	15	95
	女	31	75	74	65	46	37	46	43	27	41	38	60	583
	計	33	93	84	76	52	39	51	54	29	49	43	75	678
第2第3活動室	男	1	42	2	14	153	41		14	3	13	13	42	338
	女	23	48	53	16	63	70	16	24	27	37	22	52	451
	計	24	90	55	30	216	111	16	38	30	50	35	94	789
活動室 1～3 合計	男	15	68	14	33	160	49	7	32	10	25	42	59	514
	女	168	250	233	226	174	229	176	183	194	175	185	215	2,408
	計	183	318	247	259	334	278	183	215	204	200	227	274	2,922
録音室	男				3			2		1				6
	女	9	16	12	26	8	17	11	6	13	3	5	15	141
	計	9	16	12	29	8	17	13	6	14	3	5	15	147
第1研修室	男	2						1						3
	女	12						15					8	35
	計	14						16					8	38
第2研修室	男							1						1
	女							7						7
	計							8						8
第1第2研修室	男	7				131								138
	女	3		2	20	32		6	15	8	36	17	5	144
	計	10		2	20	163		6	15	8	36	17	5	282
研修室 1・2 合計	男	9				131		2						142
	女	15		2	20	32		28	15	8	36	17	13	186
	計	24		2	20	163		30	15	8	36	17	13	328
男性計		24	68	14	36	291	49	11	32	11	25	42	59	662
女性計		192	266	247	272	214	246	215	204	215	214	207	243	2,735
計		216	334	261	308	505	295	226	236	226	239	249	302	3,397

(2)集いの場

場所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集いの場	男	53	46	42	53	45	49	47	48	40	52	61	48	584
	女	177	174	192	175	170	185	197	180	182	217	237	306	2,392
	計	230	220	234	228	215	234	244	228	222	269	298	354	2,976

(3)合計 (1)+(2)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	男	77	114	56	89	336	98	58	80	51	77	103	107	1,246
	女	369	440	439	447	384	431	412	384	397	431	444	549	5,127
	計	446	554	495	536	720	529	470	464	448	508	547	656	6,373

平成 26 年度事業報告

事業名 ボランティア活動推進事業（福祉出前講座）

【事業内容】

福祉について市民に知ってもらい、理解を得、誰もが住みやすいまちづくりをすることを目的に、出前講座を行った。

- ・福祉機器の貸出

【実績】

（出前講座）

- ・おおひら保育所 2月23日
- ・下灘保育所 3月2日
- ・中山保育所 3月11日

（貸出）

- ・地域活動支援センターくりのみ 車椅子貸出
- ・由並小学校 車椅子・高齢者疑似体験グッズ貸出
- ・伊予市身体障害者福祉協会 車椅子貸出
- ・伊予中学校 車椅子貸出
- ・中山小学校 高齢者疑似体験グッズ貸出
- ・伊予市役所福祉課 車椅子貸出
- ・中山地域事務所 車椅子貸出
- ・郡中小学校 車椅子・高齢者疑似体験グッズ貸出
- ・新川区 車椅子貸出
- ・大平自主防災会 車椅子貸出
- ・愛媛県社会福祉協議会 車椅子貸出

【課題等】

- ・学校や地域に対しての福祉教育プログラムを検討し、実践する。

平成 26 年度事業報告

事業名 ぽかりん☆サロン (ボランティアセンター自主事業)

【事業内容】

住民誰もが気軽に集える場と、ボランティアの活動の場を提供し、住民交流サロンを毎月1回開催。(中山・双海への移動サロンも実施) ゆっくり過ごしてもらうため、軽食やデザートも用意した。献立作り、食材調達、調理、運営などボランティアが行い、ボランティア主導のサロン運営を行った。

また、伊予市ボランティアセンターイメージキャラクターのぽかりんの形をしたクッキーを就労継続支援B型空と大地に作ってもらい、サロン開催日のみ販売した。

ボランティア同士の交流と勉強会を兼ねて、視察研修も実施し、献立作りや盛付けに役立てた。

【実績】

- ・ 4月18日・5月16日・6月20日・6月28日・7月18日・8月15日・9月19日・10月17日・10月22日・11月21日・12月19日・1月16日・2月20日・3月20日
- ・ 伊予市総合保健福祉センター2階集いの場
- ・ 延参加者数：900名



【課題等】

ボランティア主導のサロンの充実。

平成 26 年度事業報告

事業名 共同募金事業

【事業内容】

募金運動についてチラシを作成しわかりやすい周知に努める。また、市内のボランティアグループや公募申請のあった団体に助成し、歳末たすけあい募金については、ふれあいの集い等を通じて地域のために有効利用する。

【実績】

①赤い羽根募金

平成 26 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日

戸別募金、事業所・法人募金、学校、職域、街頭募金など

募金合計 7,165,715 円

②歳末たすけあい募金

平成 26 年 12 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日

戸別募金、事業所・法人募金など

募金合計 3,502,772 円

※地域配分実績は別紙 4 のとおり

【課題等】

募金はどのように使われているのか、社協だよりを活用してわかりやすく周知する。

別紙 4

1. 共同募金地域配分金

事業名	助成金額	備 考
福祉団体等支援事業 (固定配分)	660,000 円	スズラン友の会
		伊予市赤十字奉仕団
		白百合会
		伊予市音読グループ
		伊予市食生活改善推進協議会
		伊予市手話サークルどんぐり
		中山地域精神障害者家族会ほほえみ会
		伊予市視覚障害者協会
		伊予市更生保護女性会連合会
		伊予地区保護司会第3分区
		ガールスカウト愛媛県第14団
		精神保健ボランティアグループしおさい
		伊予市老人クラブ連合会
		伊予市障害者団体連合会
		伊予市内スポーツ少年団(18団体)
		伊予市ボランティア連絡協議会
		わくわく交流会実行委員会
ささえあい活動支援事業 (公募配分 地域福祉活動)	1,895,000 円	南山崎児童クラブ
		伊予市トーンチャイムグループゆめ
		北山崎児童クラブ
		伊予市さざなみ館まつり実行委員会
		友輪会
		米湊港寿会
		伊予市児童館あすなろ
		松本町内会(上吾川)
		下吾川本村上組
		下吾川七夕ちょうちん祭り実行委員会
		下吾川1広報区
		鳥ノ木老人クラブ
		南伊予体育会キッズ
		伊予小学校PTA
		宮下体育会

		長沢広報区
		村中広報区
		本郷広報委員区（双海 高岸）
		読み語り隊（双海）
		伊予市手をつなぐ育成会
		大字上野区
		泉町広報区
		奥西広報委員区
社会福祉協議会実施事業	1,723,920 円	卒寿記念事業
		あい・愛フェスタ開催事業
		高齢者家庭相談員研修事業
		広報誌発行事業
		その他

2. 歳末たすけあい募金

収 入 の 部		支 出 の 部	
区 分	金 額	区 分	金 額
歳末たすけあい募金	3,502,772 円	歳末ふれあいの集い	2,884,571 円
		ちびっこクリスマス会 （市内児童クラブ）	135,000 円
		ひとり暮らし高齢者友愛 訪問	159,576 円
合 計	3,502,772 円	合 計	3,179,147 円

※差額分は、27 年度「赤い羽根共同募金」の配分金に充当します。

平成 26 年度事業報告

事業名 共同募金事業（敬老記念品の贈呈）

【事業内容】

長寿（卒寿）をお祝いするため、各地区敬老会行事の開催に合わせて記念品を贈呈する。

【実績】

記念品贈呈対象	卒寿（90歳）
記 念 品	羽毛入りホームベスト（（株）京都西川）
記念品贈呈者数	212名 （伊予地区136名、中山地区37名、双海地区39名）

【課題等】

日常で使うことのできる記念品。

平成 26 年度事業報告

事業名 まごころ銀行

【事業内容】

預託をいただいた方々の意思に沿い、一人ひとりが豊かで、お互いに支えあう。また、安全・安心で快適に過ごすことができる地域を目指し、各地区社会福祉協議会の事業や福祉サービスの充実等に預託金を活用する。

【実績】

預託状況及び指定団体等払出については別紙 5 のとおり

運営委員会の計画に基づく助成等

- ・ 地区社会福祉協議会助成金（市内 6 地区）
- ・ 災害見舞金（火事見舞 7 件）
- ・ ボランティア関係事業



【課題等】

預託金減少に伴う地区社会福祉協議会への助成金の見直し

まごころ銀行預託金及び指定団体等

預託金		払出金	
区分	金額	指定団体等	金額
香典返し等 26件	1,016,988	○平成26年度払出金	
		日赤奉仕団中山分団	20,000
		あいあいライフ	30,000
		なかやま幸梅園	20,000
		更生保護女性会中山支部	30,000
		中山老人クラブ(2件)	60,000
		住民自治されだに	100,000
		森の園	10,000
		中山地区社会福祉協議会	20,000
		小計	290,000
		○平成27年度計画	
		地区社会福祉協議会助成金	726,988
		災害見舞金	
		ボランティア関係事業	
		小計	726,988
合 計	1,016,988	合 計	1,016,988

平成 26 年度事業報告

事業名 生活福祉資金貸付事業

【事業内容】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対し、生活の安定や向上を目的に、総合支援資金・福祉資金（緊急小口資金）・教育支援資金等の相談に応じ、県社協に申請を行う。

【実績】

相談件数	相談種別	申込件数
○電話相談… 9件	○ 総合支援資金… 1件	教育支援資金… 1件
○来所相談… 12件	○ 福祉資金（緊急小口資金含む）… 13件	緊急小口資金… 2件
	○ 教育支援資金… 7件	
	○ 不動産担保型生活資金… 0件	

【課題等】

県社協と連携を密にし、返済能力があるようであればできるだけ貸付できるよう県社協に相談内容を丁寧に伝え、対応していきたい。

平成 26 年度事業報告

事業名 心配ごと相談事業

【事業内容】

日常生活におけるさまざまな悩みごとに、専門的見地からアドバイスを行った。

【実績】		
相談件数	相談員等	相談内容（件数）
一般相談 2件 ※相談内容は 4件	民生児童委員・社協役員 ・ 伊予…第4水曜日 ・ 中山…第2木曜日 ・ 双海…第2水曜日	・ 伊予（1）…心身障害者（児）福祉 ・ 中山（0） ・ 双海（1）…家族（1）、保健・衛生（1）、医療（1）
弁護士相談 74件 ※相談内容は 77件	南法律事務所所属弁護士 （伊予事務所で 毎月第1・3水曜日）	生計（1）職業・生業（1） 住宅（5）家族（18）離婚（11） 財産（19）事故（4）心身障害者（児） 福祉（1）苦情（6）保健・衛生（1） その他（10）
行政書士相談 9件	愛媛行政書士会松山支部所属 行政書士 （伊予事務所で毎月第2金曜日）	相続ほか

【課題等】

平成26年度、心配ごと相談員である民生児童委員の役員会で、心配ごと相談件数が少ないことから開所の必要性について何度か協議。住民のことを考慮し開所の必要があるとの見解となり、次年度以降は広報活動を強化することを課題とする。

平成 26 年度事業報告

事業名 民生児童委員協議会運営事業

【事業内容】

民生児童委員協議会の事務局として、地域福祉活動の支援を行った。

【実績】

別紙 6、事業報告書のとおり

【課題等】

今期 2 年目に入り、各委員が地域における相談者として定着し、各機関に直接相談したり、繋いだりしていただき、様々な活動をしていただいている。
4 月から始まる生活困窮者自立支援制度や改正された介護保険制度など、民生委員活動に密着することの法制度が改正されたことから、それらのことについて早い段階で研修を行いたいと思う。

別紙 6

平成 26 年度 伊予市民生児童委員協議会 事業報告書

【定例会】

役員会

4 月 2 日 ・ 5 月 7 日 ・ 6 月 4 日 ・ 7 月 2 日
 8 月 6 日 ・ 9 月 3 日 ・ 10 月 1 日 ・ 11 月 5 日
 12 月 3 日 ・ 平成 27 年 1 月 7 日 ・ 2 月 4 日 ・ 3 月 4 日

【全体研修会等】

月日	内容	場所	人数
4 月 21 日	平成 26 年度 総会	ウェルピア伊予	97 名
7 月 17 日 ～18 日	県外視察研修	・ 阪神淡路大震災記念 『人と防災未来センター』 ・ 北淡震災記念公園	79 名
8 月 22 日	『高齢者・障害者・児童』の制度について	伊予市総合保健福祉センター	93 名

【役員研修会】

月日	内容	場所	人数
10 月 1 日	『認知症の早期発見のポイント、認知症の方およびその家族の方への接し方』 託老所あんき 代表 中矢暁美氏	中山地域事務所	21 名

【専門部会】

・ 高齢者福祉部会

月日	内容	場所	人数
6 月 11 日	『介護保険とはなんぞや』 居宅介護支援センター伊予あいじゅ 岡田俊則氏	さざなみ館	29 名

11月12日	高齢者福祉施設 視察研修	双海夕なぎ荘	22名
--------	--------------	--------	-----

・障害者福祉部会

月日	内容	場所	人数
8月7日	『出会い、そして希望へ。』 特定非営利活動法人福祉親愛園 トミーワーク南高井 生活支援員 梅木健志氏	伊予市総合保健福祉センター	28名
10月18日	伊予市市民ふれあいの集いに参加	伊予市市民体育館	20名
12月5日	『伊予市の障害者福祉について』 伊予市市民福祉部福祉課 向井英樹氏 『体験を通して望むこと』 視覚障害者協会 会長 藤岡健次氏	伊予市総合保健福祉センター	26名
2月20日	・障害者福祉施設見学 ・『障害者の支援について』 元愛媛県立みなら特別支援学校長 友沢祐一氏	・空と大地 ・さざなみ館	25名

・児童福祉部会

月日	内容	場所	人数
7月30日	『特別支援教育の理解』について 元愛媛県立みなら特別支援学校長 友沢祐一氏	さざなみ館	26名
2月25日	中山わんぱく塾視察研修	中山わんぱく塾	24名

・主任児童委員部会

月日	内容	場所	人数
6月17日	児童センター視察	伊予市児童センターみんくる	12名
9月16日	『らい』についての学習会	大平公民館	12名

12月17日	『放課後子ども教室』について 伊予小学校 中岡典子氏	伊予小学校	10名
2月24日	翠小学校視察	翠小学校	12名

【その他の研修会など】

月日	内容	場所	人数
6月17日～ 18日	愛媛県単位民児協会長研修会	松山市道後プリンスホテル	6名
6月5日～ 5回シリーズ開催	第16期オピニオンリーダー養成講座	伊予市中央公民館	5名
7月10日～ 11日	四国地区人権教育研究大会	ひめぎんホールほか	2名
7月23日	第33回愛媛県民生委員教室	愛媛県総合社会福祉会館	19名
9月2日	愛媛県主任児童委員研修会	愛媛県総合社会福祉会館	11名
9月25日	伊予市人権・同和教育研究会	伊予市立郡中小学校	30名
10月2日	第62回愛媛県社会福祉大会	愛媛県民文化会館	20名
10月22日～ 24日	第83回全国民生委員児童委員大会	和歌山市	2名
10月31日	愛媛県中堅民生児童委員研修会	愛媛県生涯学習センター	15名
11月6日	中予地区人権・同和教育研究協議会	松前町	2名
11月13日～ 14日	愛媛県民生児童委員協議会役員研修会	四国中央市	2名
2月4日	愛媛県新任民生児童委員研修会	愛媛県生涯学習センター	19名
2月18日	愛媛県中堅民生児童委員技術向上研修会	メルパルク松山	6名

平成 26 年度事業報告

事業名 高齢者家庭相談員設置事業

【事業内容】

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、見守りや相談支援を行うことにより、不測の事態を未然に防ぐよう努める。また、研修会を開催し高齢者家庭相談員の資質の向上を図る。

【実績】

相談員数	対象者数	内 容	備 考
93 人	約 700 人	・ 友愛訪問 ・ 関係各機関の行事に協力 ・ 敬老会、ふれあい事業等への協力 ・ その他各種大会、研修会への参加 ・ 緊急時安心キットの配付	定期的に連絡会を開催し、情報交換及び関係事業の総合調整を行っている。

【課題等】

- ・ 今年度一斉改選により 50 人が新任となったことから、社協事業を始め、介護保険制度や認知症など基本的なことについて研修をすることが必要であるとする。
- ・ 本事業を広報誌等で広く周知し、ひとり暮らし高齢者等の孤立を防止する。

平成 26 年度事業報告

事業名 ふれあい・いきいきサロン事業

【事業内容】

地域の世話人が中心となり、集会所等を利用して高齢者のふれあいや交流の場を開催。簡単なレクリエーションをしたり、一緒に食事をしたりすることで毎日の生活に変化をつけ、孤独感を解消することにつなげている。

【実績】

1. 平成26年度 ふれあい・いきいきサロン利用者数
別紙7のとおり
2. 平成26年度 ふれあい・いきいきサロン世話人研修会実施報告書
別紙8のとおり

【課題等】

開催内容に苦勞されている世話人の一助になるよう、各サロンに持ち帰れる内容の研修会を開催する。

26年度ふれあいいきいきサロン利用者数

地区	No.	地 域	サロン名	回数	延利用者数	平均利用者数
大平	1	上唐川(長崎谷)	長崎谷いきいきサロン	10	89	8.9
	2	下唐川(馬場)	馬場なでしこサロン	10	59	5.9
	3	大平上(武領)	たんぼぼ	5	87	17.4
	4	大平上(大南)	大南小手谷ふれあいサロン	6	74	12.3
	5	大平上(四ツ松)	四ツ葉いきいきサロン	5	50	10
	6	大平上(大地蔵)	いきいきわくわくサロン	5	76	15.2
	7	大平上(石原)	石原なかよしサロン	10	186	18.6
	8	大平下(片山)	ひなたぼっこの会	10	123	12.3
	9	大平下(下片山)	楽しもう会	6	50	8.3
中村	10	三秋(上組・下組)	三秋ふれあいサロン	10	136	13.6
	11	中村(上組・下組)	中村ふれあいサロン	10	201	20.1
	12	森(上山・本村・上組・下組)	森ふれあいサロン	10	122	12.2
	13	尾崎(本村)	なのはな	7	91	13
	14	尾崎(宮下)	ふれあいサロン幸寿会	10	68	6.8
	15	尾崎(浜)	五色姫の会	10	59	5.9
	16	尾崎(三栄)	三栄さわやか会	10	61	6.1
	17	尾崎(伊予団地)	伊予団地ひまわりの会	10	70	7
	18	尾崎(尾崎住宅)	尾崎住宅コスモス会	10	193	19.3
	19	市場(北組・南組)	いちば いきいきサロン	10	170	17
	20	稲荷(本村)	いきいきサロン稲荷西	10	157	15.7
郡中	21	湊町(湊町1・2丁目)	湊町たんぼぼの会	10	114	11.4
	22	米湊(本郷上・西・七反)	ふれあい本郷	10	127	12.7
	23	米湊(本郷中・下)	リバーサイドサロン	7	79	11.3
	24	米湊(桜町・栄町・仲之町)	友輪会	8	82	10.3
	25	上吾川(十合)	十合美月会	10	231	23.1
	26	上吾川(宮ノ前)	宮の前いきいきサロン	10	106	10.6
	27	下吾川(北新川)	おひま会 いきいきサロン	10	165	16.5
	28	下吾川(中新川)	ニューリバーいきいきサロン	11	125	11.4
	29	下吾川(東新川・新川団地)	いきいきサロン新川	12	173	14.4
	30	下吾川(新川団地)	自由人倶楽部ふれあいいきいきサロン	6	63	10.5
	31	下吾川(鳥ノ木)	元気サロンとりのき	6	76	12.7
上野	32	宮下(音地)	いきいき音地サロン	10	126	12.6
	33	宮下(新屋敷)	新屋敷サロン	10	143	14.3
	34	宮下(南組)	宮下ミナミいきいきサロン	10	170	17
	35	宮下(北組)	伊曽能いきいきサロン	7	92	13.1
	36	上野(松本)	上野松本なかよしサロン	8	75	9.4
	37	上野(下郷)	下郷いきいきサロン	6	173	28.8
	38	上三谷(旗屋)	旗屋なごみの会	10	125	12.5
	39	上三谷(平松)	サロン平松	10	160	16
	40	上三谷(客)	サロンさつき会	6	140	23.3
	41	上三谷(大替地)	大替地しらさぎ会	10	184	18.4
	42	下三谷(原)	原組おしゃべりサロン	10	92	9.2
	43	下三谷(栗林)	マロン会	5	56	11.2

地区	No.	地 域	サロン名	回数	延利用者数	平均利用者数
中山	44	長沢（上長沢・下長沢・長沢団地）	ふれあいわかば会	7	124	17.7
	45	泉町（泉町1）	泉町1ふれあいの会	6	73	12.2
	46	中山（福元）	ふれあいさくら会	10	87	8.7
	47	永木（永木）	永木ニコニコ会	5	115	23
	48	永木（福住）	さわやか福寿会	5	110	22
	49	永木（梅原）	うめはらサロン	5	63	12.6
	50	出瀬1（門前）	サロン門前	10	75	7.5
	51	野中（野中）	ふれあいいきいきクラブ	6	48	8
	52	野中（影之浦）	れんげ草会	12	156	13
	53	佐礼谷（影浦）	ふれあいのぞみ	10	79	7.9
	54	佐礼谷（坪之内）	はいたかさん	6	66	11
	55	佐礼谷（犬寄）	ふれあいはなもも会	6	76	12.7
	56	佐礼谷（源氏）	サロンひだまり	6	74	12.3
	57	佐礼谷（中替地）	中替地いきいきサロン	6	45	7.5
双海	58	上灘（高野川）	高野川しあわせ会	10	83	8.3
	59	上灘（小網）	青空会	12	98	8.2
	60	上灘（小網）	小網仲好し会	12	186	15.5
	61	上灘（小網）	日の出会	10	118	11.8
	62	上灘（灘町）	5丁目すみれ会	11	71	6.5
	63	上灘（灘町）	あみ・あみ会	11	124	11.3
	64	上灘（灘町）	さくら	10	101	10.1
	65	上灘（灘町）	由並愛歌会	12	234	19.5
	66	上灘（灘町）	サロンなかよし	10	79	7.9
	67	翠（高見）	双高会	12	111	9.3
	68	高岸（本郷）	駅前なかよし会	10	67	6.7
	69	高岸（城の鼻）	城の花いきいきサロン	10	86	8.6
	70	高岸（唐崎）	健康教室	11	94	8.5
	71	大久保（日喰）	黒山シルバース	6	66	11
	72	串（奥東）	一の宮仲好し会	10	96	9.6
	73	串（本村）	本村なかよしサロン	36	318	8.8
	74	串（満野）	満野笑って笑って会	10	80	8
合計				679	8,202	12.1

別紙8 平成26年度 ふれあい・いきいきサロン世話人研修会実施報告書

事業内容	講師	日時	場所	時間	参加人数
『ときめき健口体操』	八倉医院 歯科衛生士 壽川明音氏	9月26日	伊予市総合保健福祉 センター	13:30～ 15:00	31名
		9月29日	双海地域事務所	10:00～ 11:30	12名
		〃	中山地域事務所	13:30～ 15:00	6名
【内容】 高齢になると口腔の感想、口腔機能の低下、誤嚥性肺炎などお口のトラブルが出てくる。日頃家庭でできる簡単で楽しい口腔ケアをサロンの代表者に指導し、各サロンの利用者に広めた。					
① 『認知症の理解とコミュニケーション』	① (株) 奏シティらいふ石手川 施設長 井上 和弘 氏	2月23日	伊予市総合保健福祉 センター	13:30～ 15:30	66名
② 平成26年度サロン 実績報告書の提出に ついて	②③ふれあい・いきいきサ ロン担当職員				
③ 平成27年度サロン 助成金の概要および 申請について					
【内容】 年度末の実績報告、また次年度開催に向けての説明会に合わせて、サロンに認知症の方の参加もあるため認知症の理解とコミュニケーションの図り方についての研修会を開催。今後の参考になった。					

平成 26 年度事業報告

事業名 伊予市地域包括支援センター相談窓口（ブランチ）設置

（在宅介護高齢者相談支援センター）事業

【事業内容】

在宅の要援護高齢者及びその家族等に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じるとともに、介護ニーズに応じた各種保健、福祉サービスが総合的に受けられるよう市、サービス事業者との連絡調整を行うことで地域福祉の向上を図る。

【実績】

- ・相談実績 実人数 117 人、延人数 442 人
- 相談内容 介護予防 2 件、社会資源・サービス相談 49 件、介護保険利用相談 260 件、入所相談 9 件、医療相談 4 件、虐待相談 2 件、権利擁護相談 15 件、その他 101 件 計 442 件

・アセスメントシートの作成

相談窓口において必要であると判断した場合には、要援護高齢者等の状況を把握しアセスメントシートを作成した。

年度累計 ・新規 14 件 ・継続 27 件 合計 41 件

【課題等】

- ・民生児童委員や高齢者家庭相談員の会合等で周知を図ることや、市民に対しても社協だより等で啓発する。

平成 26 年度事業報告

事業名 伊予市障害者相談支援事業

【事業内容】

① 伊予市障害者相談支援事業

- (1) 福祉サービスの利用援助
- (2) 社会資源を活用するための支援
- (3) 社会生活力を高めるための支援、社会生活訓練プログラムの実施
- (4) ピアカウンセリング
- (5) 権利の擁護のために必要な援助
- (6) 専門機関の紹介
- (7) その他障害者の在宅生活を支えるために必要な事業

② 伊予市障害者相談支援センター事業

- (1) 基幹相談支援センター等機能強化事業（障害者相談支援事業を円滑に実施し、地域の相談支援機能を強化するもの）
- (2) 住宅入居等支援事業（賃貸契約による一般住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障害者に対し、入居に必要な調整等を行う）
- (3) 障害者虐待防止、障害者の養護者に対する支援業務

③ 伊予市相談支援事業所（特定・障害児・一般）事業

特定・障害児相談支援：基本相談支援に加え、相談支援専門員がアセスメントを行い、障害者の自立した生活を支えると共に抱える課題の解決や本人に必要なサービスの種類と利用量を的確に見極め、サービス等利用計画の作成と一定期間ごとの見直しを行う。

一般相談相談支援：基本相談支援に加え、障がい者支援施設や病院等に入所・入院している方が、地域生活へ移行するための支援を行います。また、居宅において単身で生活している方等の常時の連絡体制の確保や緊急時の支援を行う。

【実績】

① 伊予市障害者相談支援事業

平成 26 年度相談支援事業実績報告書（別紙 9）を参照。

② 伊予市障害者相談支援センター事業

平成 26 年度伊予市障害者相談支援センター事業実績報告書（別紙 10）を参照。

③ 伊予市相談支援事業所（特定・障害児・一般）事業

	計画策定	モニタリング	合計
特定相談支援	68	123	191
障害児相談支援	3	7	10
合計	71	130	201

一般相談相談支援に関しては、地域移行・地域定着とも実績なし。

【課題等】

- ・地域住民や、関係機関等への障害者相談支援事業へ、伊予市障害者相談支援センターや相談支援専門員についての周知不足。平成26年度は伊予市社協だよりに伊予市障害者相談支援センターだよりを記載し、周知を図っていたが、今後も様々な機会を捉えての周知・PRが必要。
- ・市内の相談支援事業者や障害福祉サービス事業者、その他、行政、保健センター、警察、教育や医療機関との連携の確立。
- ・地域住民の障害や障害者に対する意識啓発（障害者への理解や対応、地域での受け入れ）が必要。
- ・従来の障害の種類（知的・身体・精神）だけにとどまらず、多様化する障害（高次脳障害、発達障害、難病）や障害者やその家族を取り巻く問題（障害者虐待、成年後見、権利擁護、就労支援等）など、幅広い分野に対応できる職員の育成。
- ・市内の困難事例を、一人の相談支援専門員や事業所が抱え込まず、関係機関等と連携しながら対応できる障害者相談支援センターの後方支援体制作り。
- ・障害者差別解消法、障害者雇用促進法等の新しい制度の市民への普及・啓発。
- ・公的なサービスだけでなく、インフォーマルな社会資源の開発。

平成26年度 相談支援事業実績報告書

伊予市社協指定相談支援事業所

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障 害 者 (01)	191	37	0	65	91	15	1	11
障 害 児 (02)	41	0	0	18	2	18	1	4
計 (03)	232	37	0	83	93	33	2	15

(相談支援事業の実績体制)

	市町村直営で実施		
	障害者福祉 主管課で実施 (1)	直営相談支援 事業所で実施 (2)	委託相談支援 事業所で実施 (3)
身体障害者 (04)			37
知的障害者 (05)			83
精神障害者 (06)			128

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電子メール (5)	個別支援会議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数 (07)	169	95	92	542	168	52	530	99	1747

	福祉サービ スの利用等に関 する支 援 (1)	障害や病状の理 解に関する支援 (2)	健康・医療に 関する支援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援 (4)	保育・教育に 関する支援 (5)	家族関係・ 人間関係に 関する支援 (6)	家計・経済に 関する支援 (7)	生活技術に 関する支援 (8)	就労に関する 支 援 (9)
件 数 (08)	418	391	442	591	146	605	491	587	180
(再掲) ピアカウンセラー (09)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	社会参加・ 余暇活動に関 する支援 (10)	権利擁護に 関する支援 (11)	その他 (12)	計 (13)
件 数 (08)	205	92	145	4293
(再掲) ピアカウンセラー (09)	0	0	0	0

相談受付及び支援実施件数(受付件数<支援内容)

主たる障害	受付件数	支援内容(内訳)							
		福祉サービス利用開始	社会資源の活用	社会生活力	ピアカン	権利擁護	専門機関	その他	合計
視覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚	2	0	2	5	0	1	5	6	19
	5	4	9	9	0	2	4	7	35
肢体	6	15	16	18	0	1	7	10	67
	8	15	32	28	0	2	19	14	110
内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	26	95	146	183	0	29	107	114	674
	19	60	104	82	0	12	70	44	372
精神	27	79	166	122	0	18	122	152	659
	69	92	334	271	0	19	239	123	1078
障害児	19	48	89	52	0	2	69	45	305
	22	40	133	103	0	5	95	35	411
重複	10	13	66	43	0	3	42	13	180
	9	12	41	46	0	5	39	31	174
その他	3	3	9	13	0	1	11	5	42
	8	11	44	47	0	4	32	29	167
合計	93	253	494	436	0	55	363	345	1946
	140	234	697	586	0	49	498	283	2347

上段 利用登録者(継続支援対象者)からの相談件数

下段 単発の相談者(継続支援対象者以外)からの相談件数

相談受付ルート

本人	家族	知人等	障害福祉サービス事業所	その他の福祉サービス事業者	行政機関	医療機関	教育機関	その他	合計
38	59	4	28	8	62	10	5	19	233

相談等の実施方法

電話	来所	訪問	その他	合計
542	95	169	941	1747

事業者名 伊予市障害者相談支援センター

1. 市内障害者相談支援事業所の統括・後方支援

伊予市相談支援事業者連絡会開催実績

	開催日時	開催場所	参加者数	議 題
第 1 回	H26. 4. 21 (月) 13:30～	伊予市社協 本館 2 階	9 名	・手話通訳者設置事業内容説明とその活用。 ・リレーファイルの活用。 ・障害福祉サービスから介護保険へのスムーズな移行について。 ・困難事例検討 他。
第 2 回	H26. 6. 23 (月) 13:30～	ボランティア センター2 階	9 名	・相談支援専門員の計画相談支援に係る、事務手続きの軽減策の検討。 ・移動支援の適切な利用の周知。 ・就労支援部会の立ち上げについて。 ・困難事例検討 他。
第 3 回	H26. 7. 28 (月) 13:30～	伊予市社協 本館 2 階	10 名	・長期入院者の退院支援時の対応について。 ・就労経験のない人の就労継続支援利用時の手続き確認。 ・相談支援専門員の計画相談支援に係る、事務手続きの軽減策について。 ・困難事例検討 他。
第 4 回	H26. 8. 25 (月)	伊予市社協 本館 2 階	8 名	・伊予市タイムケア事業の現状説明。 ・サービス等利用計画の作成に関する情報交換。 ・利用者の緊急時対応の検討。 ・困難事例検討 他。

2. 相談支援専門員に対する研修

《伊予市相談支援従事者研修》

	開催日時	開催場所	参加者数	テーマ
第 1 回	H26. 9. 2 (火)	ボランティア センター2 階 第 2・3 活動室	24 名	【福祉用具・住宅改修の活用について】 ・福祉用具や住宅改修に関する基本的な知識。 ・福祉用具や住宅改修の活用や導入効果、その選定方法について。 ・事業者との連携 等。 《講師》 愛媛県介護実習・普及センター 相談員 徳永 栄一 氏

第2回	H27.3.11	ボランティアセンター2階 第2・3活動室	21名	【訪問看護・訪問リハビリの活用について】 ・訪問看護、訪問リハビリの制度上の位置づけ。 ・サービスの目的や内容。 ・医療サービスとの連携や情報共有 等。 《講師》 愛媛リハビリ訪問看護ステーション 作業療法士 毛利 雅英 氏
-----	----------	-------------------------	-----	--

3. 障害福祉サービス事業者等に対する研修

《障害福祉サービス等事業者研修会》

	開催日時	開催場所	参加者数	テーマ
第1回	H26.9.10 (水) 13:30 ～ 16:30	ボランティアセンター2階 第2・3活動室	31名	【障害者の理解について】 ・障害者の理解について（総論） ・相談支援専門員の役割や、サービス等利用計画の理解及びその連携。 ・障害者虐待防止法、障害者差別解消法の理解 等。 《講師》 ウィルビィフレキシブルセンター 専務取締役 五島 裕子 氏
第2回	H26.10.14 (火) 13:30 ～ 17:00	ボランティアセンター2階 第2・3活動室	42名	【①高次脳機能障害の現状と支援】 ・高次脳機能障害の理解。 ・在宅生活を支援する際の対応や、支援を行う際の注意点。 ・高次脳機能障害に関する制度や社会資源。 《講師》 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 係長 伊賀上 舞 氏

	開催日時	開催場所	参加者数	テーマ
第2回	H26.10.14 (火) 13:30 ～ 17:00	ボランティアセンター2階 第2・3活動室	42名	【②精神障害者の理解】 ・精神疾患の理解。 ・在宅生活を支援する支援者としての課題や対応方法。 ・支援を行う際の注意点 等。 《講師》 社会福祉法人 松前町社会福祉協議会 在宅支援課長 渡邊 桂子 氏
第3回	H26.11.13 (木)	ボランティアセンター2階	30名	【①発達障害について】 ・発達障害の理解（種別、特性、概要等）。

	13 : 30 ～ 17 : 00	第 2・3 活動室	・発達障害者への関わりや対応方法 等。 《講師》 愛媛県発達障害者支援センター センター長 森本 武彦 氏 【②知的障害について】 ・知的障害の理解。 ・在宅生活を支援する支援者としての課題 や対応方法。 ・支援を行う際の注意点 等。 《講師》 就労継続支援 B 型事業所 空と大地 施設長 阿部 富美 氏
--	-------------------------	-----------	--

平成 26 年度事業報告

事業名 伊予市手話通訳者設置事業（障害者相談支援事業）

【事業内容】

聴覚障害者が社会生活における自立と社会参加を促進するために手話通訳者を設置する事により、意思疎通の円滑化を図り、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

- ・ 来所した聴覚障害者等に手話通訳業務及び聴覚障害者等に対する障害福祉サービス等に係る情報提供等の支援。
- ・ 聴覚障害者等の家庭等に訪問し、職務を遂行する場合における同行通訳業務。
- ・ 緊急かつ他に代替することができない場合における所外による手話通訳業務。

【実績】

- ・ 相談業務 平成 26 年度 17 件
- ・ 手話サロン ボランティアセンター集いの場にて平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月まで毎月第 3 月曜日に開催

平成 26 年 9 月 22 日	参加者 10 人
10 月 20 日	参加者 5 人
11 月 17 日	参加者 4 人
12 月 15 日	参加者 7 人
1 月 19 日	参加者 5 人
2 月 16 日	参加者 9 人
3 月 16 日	参加者 6 人

- ・ 福祉教育での保育園訪問

平成 27 年 2 月 23 日	大平保育園	参加者 園児 10 人
3 月 2 日	下灘保育園	参加者 園児 30 人
3 月 9 日	中山保育園	参加者 園児 23 人

【課題等】

- ・ 地域住民や関係機関、聴覚障害者等に対する手話通訳者設置事業の周知不足。
- ・ 社協だより等を利用して PR の機会を作る。
- ・ 民生委員会等を通じて地域の支援者に事業に案内を行い、事業を推進していく必要有り。
- ・ スムーズな通訳業務のための通訳者としての質の向上や関係機関との連携。

平成 26 年度事業報告

事業名 伊予市徘徊高齢者 SOS ネットワーク（在宅介護高齢者相談支援 センター）事業

【事業内容】

・認知症高齢者の所在がわからなくなった場合、伊予市、伊予警察署その他関係機関・団体等が一体となって早期発見・保護に努め、認知症高齢者を抱える家族が安心して生活できるよう体制整備を行った。

【実績】

・登録者 11 名（伊予 6 名・中山 4 名・双海 1 名）平成 27 年 3 月末現在うち、平成 26 年度の新規登録者は 6 名（伊予 3 名・中山 2 名・双海 1 名）（内 1 名は年度中削除）

【課題等】

・今年度は、新規登録が 6 件あり、担当ケアマネから提案され申し込みをしたという方がほとんどであった。民生委員や高齢者家庭相談員への PR も引き続き行なうとともに、関係機関とも連携して体制整備を継続していきたい。

平成 26 年度事業報告

事業名 家族介護教室事業

【事業内容】

高齢者を介護している家族や、近隣の援助者に対し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識、技術を習得するための教室を開催した。

【実績】

- ① H26. 5. 14 場所 : 上野下郷集会所 (伊予)
参加者 : 29 名
「介護保険とサービス利用について」
- ② H26. 6. 25 場所 : 池ノ久保集会所 (双海)
参加者 : 17 名
「介護保険とサービス利用について」
- ③ H27. 3. 12 場所 : 伊予市総合保健福祉センター (伊予)
参加者 : 16 名
「家族の介護が必要になったら
介護保険とサービス利用について」

【課題等】

- ・地域からの要望が少ないが、積極的に出向き在宅での介護を支援することが必要である。
- ・民生児童委員や高齢者家庭相談員の会合等で周知を図ることや、市民に対しても社協だより等で啓発する。

平成 26 年度事業報告

事業名 デイサービスセンター じゅらく

【事業内容】

通所型介護予防事業(対象：二次予防事業対象高齢者)

介護予防通所介護事業(対象：介護保険 要支援Ⅰ・Ⅱ)

高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行い、身心機能の維持・回復の改善につなげた。

【実績】

行事…外出、介護予防リハビリ、音楽レクレーション、陶芸教室、脳トレ
作品作り(カレンダー作り、季節の飾り物)

開所日数…256 日

職員数… 管理者 1 人・介護職員 2 人・看護職員 3 人・生活相談員 2 人
・運転手 2 人（うち生活相談員 1 人は管理者兼務）

延利用者数…2217 人(対象：二次予防高齢者)

運動器機能向上 2217 人 口腔機能向上 0 人

延利用者数…104 人(対象：介護保険)

運動器機能向上 104 人

指導講師…運動器機能向上（ （株）愛媛リハビリ ）

【課題等】

地域や他のサービス事業所と連携を図り、二次予防高齢者から要支援まで切れ目のない支援を行なう。今後は利用者を増やし、安定した経営につなげる必要がある。

平成 26 年度事業報告

事業名 一般高齢者介護予防事業

【事業内容】

市内在住の 65 歳以上の高齢者やその支援のための活動に関わる者に対し、要介護状態に陥ることなく自立した生活が送れるよう、転倒予防、認知症予防、IADL 訓練事業（調理）などの介護予防のための知識の普及、啓発を行った。

【実績】

① 転倒予防教室

・ H26. 6. 21	新川集会所	(伊予)	13 名
・ H26. 6. 26	奥東公民館	(双海)	8 名
・ H26. 10. 9	伊予団地集会所	(伊予)	5 名
・ H26. 10. 17	尾崎 浜集会所	(伊予)	7 名
・ H26. 11. 5	大平緑風館	(伊予)	28 名
・ H26. 12. 3	唐川ふれあいプラザ	(伊予)	21 名
・ H26. 12. 11	ウェルピア伊予	(伊予)	36 名
・ H27. 1. 28	唐川ふれあいプラザ	(伊予)	24 名
・ H27. 2. 4	大平緑風館	(伊予)	16 名
・ H27. 2. 25	大平緑風館	(伊予)	15 名

② 認知症予防教室

・ H26. 8. 8	佐礼谷地区公民館	(中山)	32 名
・ H26. 8. 28	石原集会所	(伊予)	15 名
・ H26. 9. 21	尾崎住宅集会所	(伊予)	13 名
・ H26. 10. 1	唐川ふれあいプラザ	(伊予)	52 名
・ H26. 11. 12	上野 下郷集会所	(伊予)	29 名
・ H26. 12. 5	米湊 聖集会所	(伊予)	26 名
・ H26. 12. 5	布部集会所	(伊予)	23 名
・ H26. 12. 14	本郷公民館	(双海)	23 名

③ IADL 訓練事業

・ H26. 4. 17	生涯研修センターさざなみ館（伊予）	15 名
・ H26. 5. 15	〃	15 名
・ H26. 6. 19	〃	15 名
・ H26. 7. 17	〃	14 名
・ H26. 8. 21	〃	15 名
・ H26. 9. 18	〃	15 名
・ H26. 10. 16	〃	15 名
・ H26. 11. 20	〃	14 名
・ H26. 12. 18	〃	15 名
・ H27. 1. 15	〃	13 名
・ H27. 2. 19	〃	11 名
・ H27. 3. 19	〃	15 名

【課題等】

・ IADL 教室（男性料理教室）は、食育を通して、健康づくりや男性同士の仲間づくりに繋がっており、継続して利用したいという希望者が多い。今年度は、新規の申し込みが 9 名と多く、引き続き事業を推進するために社協だより等での PR 活動で啓発を行なう。



平成 26 年度事業報告

事業名 介護予防施設送迎サービス事業

【事業内容】

「伊予市老人福祉センター」、伊予市高齢者福祉増進施設「唐川ふれあいプラザ」及び「上灘老人憩の家」を利用したくても、家から遠い・交通機関がないなどの理由で利用できない人に対して交通手段を確保することで、高齢者の健康増進や介護予防、閉じこもり防止などを図り、高齢者福祉の向上に資することを目的とする。

対象者

伊予市に住所を有する概ね 65 歳以上の自立高齢者

運行区間及び回数

- ① 唐川地区⇄伊予市高齢者福祉増進施設唐川ふれあいプラザ⇄伊予老人福祉センター（週 2 回）
- ② 双海地区⇄上灘老人憩いの家（週 3 回）

運行時期及び利用料

運行時期：随時（事前予約制）、

利用料：無料



車両及び運転者

唐川地区：バス 1 台（市役所無償貸与）、運転者 2 名

双海地区：車両 1 台（軽自動車、市役所無償貸与）、運転者 3 名

【実績】

別紙 11 のとおり

【課題等】

市が運営している、福祉バスやデマンドタクシーとの効果的な運行

介護予防施設送迎サービス事業実績

月別	唐川地区				双海地区			
	運行日数	走行距離	利用者数	備考	運行日数	走行距離	利用者数	備考
4月	2	44	4		13	182	52	
5月					12	184	54	
6月					13	168	55	
7月	3	110	10		12	205	63	
8月	1	40	4		13	184	54	
9月					12	184	54	
上半期計	6	194	18		75	1,107	332	
10月					13	209	66	
11月					10	178	58	
12月	2	44	2		12	208	64	
1月					11	210	63	
2月					11	223	72	
3月					12	217	71	
下半期計	2	44	2		69	1,245	394	
年間合計	8	238	20		144	2,352	726	

平成 26 年度事業報告

事業名 居宅介護支援事業

【事業内容】

介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において少しでも長く日常生活が送れるよう、本人や家族の希望、心身の状況に応じたケアプランの作成及び相談、介護サービス等の総合的な利用支援を行った。

【実績】

	介護支援専門員数	利用者数
伊予事務所	常勤 3人	実人数 151人 (うち介護予防20人)
双海事務所	常勤 2人 非常勤 1人	実人数 114人 (うち介護予防21人)

【課題等】

在宅での生活が継続できるよう、また目標が達成できるよう、サービス事業所等と連携しながらケアプランを作成する。

平成 26 年度事業報告

事業名 訪問介護事業

【事業内容】

ホームヘルパーが家庭を訪問し、すこしでも自立した生活を送っていただけるように配慮しながら食事、入浴、排泄などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助を行った。体調に変化があった時には 関係機関と連携をとりながら対応した。

【実績】

1. 伊予事務所

訪問介護員数		利 用 者 数	派遣延時間
常 勤	2 人	要介護者 30 人	5,117.5 時間
非常勤	12 人	介護予防 39 人	
計	14 人		

2. 中山事務所

訪問介護員数		利 用 者 数	派遣延時間
常 勤	3 人	要介護者 48 人	7,442 時間
非常勤	10 人	介護予防 25 人	
計	13 人		

3. 双海事務所

訪問介護員数		利 用 者 数	派遣延時間
常 勤	2 人	要介護者 22 人	4,577 時間
非常勤	9 人	介護予防 12 人	
計	11 人		

【課題等】

ケアプラン、個別援助計画の目標が達成できるよう、また在宅で安心して暮らせるよう、サービスを提供する。

平成 26 年度事業報告

事業名 障害者福祉サービス・地域生活支援事業

【事業内容】 身体・知的・精神障害者（児）が可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介護その他生活全般にわたる援助を行った。			
【実績】 1. 居宅介護事業			
障害種別	利用者数	派遣時間	備 考
障害児	実人員 3 人	221.5 時間	身体介護 102.5 時間 家事援助 119.0 時間 通院介護 0 時間
身体	実人員 9 人	1,010.5 時間	身体介護 23.5 時間 家事援助 965.0 時間 通院介護 22.0 時間
知的	実人員 15 人	1,513.0 時間	身体介護 221.5 時間 家事援助 1,237.5 時間 通院介護 54.0 時間
精神	実人員 19 人	1,846.5 時間	身体介護 0 時間 家事援助 1,727.0 時間 通院介護 119.5 時間
同行	実人員 4 人	328.5 時間	

2. 地域生活支援事業

障害 種別	利用者数	派遣時間	備 考
身体	実人員 0 人	0 時間	移動支援 0 時間 家事援助・生活サポート 0 時間
知的	実人員 4 人	102.5 時間	移動支援 102.5 時間 家事援助・生活サポート 0 時間
精神	実人員 2 人	53 時間	移動支援 48.5 時間 家事援助・生活サポート 4.5 時間
児童	実人員 3 人	114.5 時間	通学支援 34 時間 移動支援 80.5 時間

【課題等】

伊予市社協指定相談支援事業所と連携しながら、一人ひとりに応じたサービスを提供する。

平成 26 年度事業報告

事業名 子育て支援ホームヘルプサービス事業

【事業内容】

子育て支援ホームヘルプサービス事業は、乳幼児を有する家庭において病
気等により家庭生活に支障をきたしている場合において、その支援のために、
ホームヘルパーを派遣し、子育てが円滑にできることを目的として実施した。

【実績】

利用者数	派遣時間	備 考
実人員 1 人	146.5 時間	家事援助 146.5 時間

【課題等】

事業の周知をして、活用を推進する。

平成 26 年度事業報告

事業名 福祉用具貸与事業

【事業内容】

在宅で介護を受けている概ね 65 歳以上の高齢者及び身体障害者等に必要に応じて福祉機器の貸し出しを行い在宅福祉サービスの向上に努める。

【実績】

車椅子 129 件
ポータブルトイレ 8 件
歩行補助器 1 件
シャワーチェア 5 件
バスボード 0 件

合計 143 件

【課題等】

・物品の老朽化

歩行器は型も古く大きいため、在宅での使用に不便である。車いすも老朽化のため、返却時にはタイヤ交換や修理が必要であり、ひどいものでは買い替えを検討する必要な物もある。

・介護保険の対象とならない軽度者への貸し出しも多く、今後も福祉用具貸出の需要が多く見込まれる。

平成 26 年度事業報告書

事業名 地区社協に関する事業

【事業内容】

南山崎・中村・郡中・上野・中山・双海の各地区社協が開催する事業や、地域のニーズ把握等の取り組みに協力し、地域福祉を推進する。

【実績】

- ・ 敬老の家事業、在宅福祉ネットワーク事業、給食サービス、紙おむつ支給事業、ふれあい事業、その他の各種事業への協力支援
- ・ 総会や委員会等の協力
- ・ 研修等の相談支援など

【課題等】

- ・ 地域に根ざした自主的な地区社協としての事業が展開できるよう、また、公民館活動ほか地区組織との連携を図り、地域福祉を一体となって推進できるよう努力する。

平成 26 年度事業報告

事業名 指定管理事業（老人福祉センター）

【事業内容】

高齢者に対しての各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を営むことができることを目的とする。

業務範囲

- ①施設の維持管理
- ②高齢者の生活相談に応じた援助または指導
- ③高齢者の健康相談に応じた援助または指導
- ④高齢者の後退機能の回復訓練
- ④ 高齢者の教養の向上及びレクリエーション等のための便宜の供与
- ⑤ その他高齢者福祉の向上に関する援助

施設管理人 2 名（非常勤）

【実績】

別紙 12 のとおり



【課題等】

健康器具（マッサージ器）の使用頻度に伴う故障等への対応（財源など）

平成 26 年度事業報告

事業名 指定管理事業（唐川ふれあいプラザ）

【事業内容】

介護予防拠点施設として、高齢者が要介護状態にならないよう、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を営むことができることを目的とする。

業務範囲

- ①施設の維持管理
- ②高齢者の生活相談に応じた援助または指導
- ③高齢者の健康相談に応じた援助または指導
- ④高齢者の生業及び就労などについての指導
- ⑤高齢者の後退機能の回復訓練
- ⑥高齢者の教養の向上及びレクリエーション等のための便宜の供与
- ⑦地域住民と高齢者の交流
- ⑧その他高齢者福祉の向上に関する援助

施設管理人 2 名（非常勤）

【実績】

別紙 12 のとおり



【課題等】

多目的室の活用検討（子どもや高齢者が集える場としての開放、公民館等とタイアップした地域イベントの開催など）

平成 26 年度事業報告

事業名 指定管理事業（上灘老人憩の家）

【事業内容】

高齢者に対しての各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を営むことができることを目的とする。

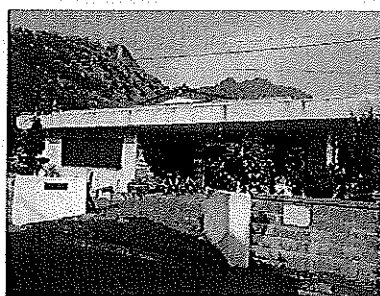
業務範囲

- ①施設の維持管理
- ②高齢者の生活相談に応じた援助または指導
- ③高齢者の健康相談に応じた援助または指導
- ④高齢者の教養の向上及びレクリエーション等のための便宜の供与
- ⑤地域住民と高齢者の交流
- ⑥その他高齢者福祉の向上に関する援助

施設管理人 3 名（非常勤）

【実績】

別紙 12 のとおり



【課題等】

施設の老朽化に伴う故障等への対応（浴室関係）
健康器具（マッサージ器）の充実

伊予市老人福祉センター

(単位:日、人)

月別	開館日数	集会室	娯楽室	訓練室	ロビー	計	一日平均	年齢別内数		
								20歳未満	20歳以上の65歳未満	65歳以上
4	21	342	82	1,623	116	2,163	103	0	13	2,150
5	20	272	70	1,496	103	1,941	97	0	16	1,925
6	21	289	86	1,692	100	2,167	103	0	15	2,152
7	22	379	92	1,685	91	2,247	102	0	14	2,233
8	21	221	56	1,519	72	1,868	89	0	10	1,858
9	20	252	69	1,560	83	1,964	98	0	14	1,950
10	22	286	72	1,678	85	2,121	96	0	13	2,108
11	18	251	66	1,382	63	1,762	98	0	9	1,753
12	19	248	60	1,490	66	1,864	98	0	14	1,850
1	19	212	66	1,455	67	1,800	95	0	14	1,786
2	19	309	63	1,514	71	1,957	103	0	11	1,946
3	22	370	68	1,686	85	2,209	100	0	10	2,199
合計	244	3,431	850	18,780	1,002	24,063	99	0	153	23,910

伊予市高齢者福祉増進施設「唐川ふれあいプラザ」

(単位:日、人)

月別	開館日数	本館		別館		計	一日平均	年齢別内数		
		多目的室	娯楽室	和室(大)	和室(小)			20歳未満	20歳以上の65歳未満	65歳以上
4	22	12	149	93	0	254	12	0	35	219
5	22	32	206	110	0	348	16	0	69	279
6	22	18	162	149	0	329	15	0	59	270
7	23	50	233	131	0	414	18	23	61	330
8	23	32	248	117	0	397	17	4	35	358
9	22	28	228	63	0	319	15	6	3	310
10	24	24	297	94	0	415	17	4	22	389
11	19	38	232	45	0	315	17	0	19	296
12	20	33	225	50	0	308	15	0	30	278
1	19	43	167	36	0	246	13	0	7	239
2	20	39	235	35	55	364	18	1	54	309
3	23	32	220	18	10	280	12	0	22	258
合計	259	381	2,602	941	65	3,989	15	38	416	3,535

上灘老人憩いの家

(単位:日、人)

月別	開館日数	娯楽室・風呂		クローカー場	計	一日平均	年齢別内数		
							20歳未満	20歳以上の65歳未満	65歳以上
4	21	399	134		533	25	0	20	513
5	20	414	102		516	26	1	25	490
6	22	453	146		599	27	0	25	574
7	22	412	126		538	24	1	18	519
8	21	327	82		409	19	1	18	390
9	20	358	114		472	24	0	23	449
10	22	391	117		508	23	0	14	494
11	18	320	88		408	23	0	15	393
12	19	360	53		413	22	8	16	389
1	19	367	94		461	24	0	23	438
2	19	432	105		537	28	9	15	513
3	22	432	122		554	25	8	22	524
合計	245	4,665	1,283		5,948	24	28	234	5,686